

令和4年度 第2回川崎市文化芸術振興会議市民ミュージアム部会

日 時 令和5年3月23日（木）
午後1時30分～午後3時30分
会 場 市民文化局会議室

次 第

- 1 開会
- 2 館長挨拶
- 3 議事
 - (1) 令和4年度事業報告及び評価について
 - (2) 令和5年度事業計画（案）について（報告）
 - (3) 被災収蔵品の修復活動の状況について（報告）
 - (4) その他
- 4 閉会

資料

- 資料1 令和4年度川崎市市民ミュージアム事業報告・評価について
- 資料2 令和4年度川崎市市民ミュージアム事業報告（今回報告・評価を行う事業）
- 資料3 令和5年度川崎市市民ミュージアム事業計画（案）
- 資料4 被災収蔵品の修復について
 - 参考資料1 令和4年度川崎市市民ミュージアム事業報告（第1回部会で報告・評価を行った事業）
 - 参考資料2 川崎市文化芸術振興会議規則
 - 参考資料3 川崎市文化芸術振興会議市民ミュージアム部会設置要綱

川崎市文化芸術振興会議市民ミュージアム部会委員名簿

○委員（敬称略：五十音順）

いとう たつや 伊藤 達矢	東京藝術大学 社会連携センター特任准教授 とびらプロジェクト・Museum Start あいうえの・マネージャ
いなにわ さわこ 稲庭 彩和子	国立美術館本部主任研究員 新たな博物館、美術館に関する基本構想懇談会委員
ふじしま としえ 藤嶋 俊會	美術評論家連盟会員 元神奈川芸術文化財団学芸員 かわさき市美術展懇談会委員
わたなべ なな 渡辺 奈々	美術作家（デザイナー） かわさき市美術展懇談会委員

令和4年度川崎市市民ミュージアム事業報告・評価について

1 趣旨

川崎市市民ミュージアム(以下「ミュージアム」という。)の活動のさらなる充実を図るため、川崎市文化芸術振興会議の部会である市民ミュージアム部会において、令和4年度のミュージアム事業全般に対する評価を実施する。

2 評価の目的

- (1) ミュージアムの事業全般に対して、外部の学識経験者に客観的かつ多様な視点からの評価を受けることで、ミュージアムの課題を明確化し、運営のさらなる充実につなげる。
- (2) 評価を継続実施することで、中長期的なミュージアム運営の改善につなげていく。
- (3) ミュージアムの事業内容・評価を公表することにより、運営の透明性を高め、ミュージアム事業に対する市民の理解を得る。

3 評価者

川崎市文化芸術振興会議市民ミュージアム部会委員

4 評価方法

令和4年度の実施事業(項目)について、次の(1)及び(2)の評価を実施する。

- (1) ミュージアムによる内部評価(自己点検)として、実施状況・成果等、課題・反省等
- (2) 市民ミュージアム部会委員による外部評価として、意見(評価できる点や課題等)及び評定

※評定 A:十分に達成
B:概ね達成
C:達成に至らず

B令和4年度川崎市市民ミュージアム事業報告

(今回報告・評価を行う事業 3月23日現在)

<目次>

1 展覧会・上映会	
展覧会④ 救う過去、つなぐ未来 —川崎市市民ミュージアム被災後活動報告 巡回展—	… 2
展覧会⑤ 被災から今、ふたたび —川崎市市民ミュージアム 修復収蔵品展—	… 4
展覧会⑥ 鉄道開業150年記念展 川崎鉄道三題噺	… 6
展覧会⑦ オンライン展覧会「the 3rd Area of “C” —3つめのミュージアム—」	… 8
展覧会⑧ 第56回かわさき市美術展	…11
展覧会⑨ 陸前高田市立博物館新館開館記念特別展 未来への約束～博物館が 守り伝えるふるさとのたからもの (報告のみ)	…13
2 教育普及	
教育普及④ 市民ミュージアム講座 (オンラインセミナー)	…14
教育普及⑤ 史跡めぐり —夢見ヶ崎 紅葉の道を歩く—	…16
教育普及⑥ オンライン美術鑑賞ワークショップ「言葉で旅するアーカイブ ～目の見えない人と見える人が川崎の風景を語る～」	…18
教育普及⑦ 社会科教育推進事業	…20
教育普及⑧ スクールプログラム	…22
3 資料等の調査、収集・受入、研究、修復に関する業務	…24
4 広報に関する業務	…24
5 収蔵品の外部利用に関する業務	…25
6 ミュージアムショップの運営に関する業務	…25
7 危機管理に関する業務	…25
8 令和4年度 市民ミュージアム事業費 予算	…26

1 展覧会・上映会

【展覧会④】

事業名	救う過去、つなぐ未来 ―川崎市市民ミュージアム被災後活動報告展―
会期・会場	市内7区を巡回開催。 令和4年 8月16日(火)～8月22日(月) 高津区役所 10月18日(火)～10月27日(木) 市役所第3庁舎 11月2日(水)～11月10日(木) 中原市民館 11月16日(水)～11月24日(木) 宮前区役所 12月2日(金)～12月14日(水) 麻生市民館 令和5年 1月18日(水)～1月26日(木) 幸区役所日吉出張所 1月31日(火)～2月5日(日) 多摩区役所
コンセプト	市民ミュージアムは、令和元年東日本台風により9つの地下収蔵庫全てが浸水し、約24万5千点の収蔵品が被災する甚大な被害を受けました。 施設は休館中ですが、ミュージアム内部では被災直後から設備の応急的な復旧を行うとともに、収蔵品の収蔵庫からの搬出、作品の劣化の進行を食い止める「応急処置」等の収蔵品レスキュー活動を、様々な外部団体の御支援・御協力をいただきながら実施してきました。現在も引き続き、ひとつでも多くの収蔵品を救い未来へつなげるため、迅速な応急処置や、専門家による修復等の活動を進めています。 本展は、昨年東海道かわさき宿交流館で開催した展示を、市内の各区で巡回し、多くの市民に当館の現状を報告するものです。
内容	被災時の状況、被災収蔵品のレスキュー・修復活動、現在出張形式で実施している市民ミュージアムの各種事業について、写真と文章で解説する大型パネル25枚を展示。(会場により枚数を調整)
関連事業	
その他	



自己評価
<p><実施状況・成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民ミュージアム被災後の状況について、市民の皆様にご覧いただく場を初めて市内全ての区に展開することができました。 ・各区とも、多くの方が利用する区役所や市民館を会場とし、他の用事でお越しになった方にも見ていただくことができました。 ・会場の広さによって、展示パネルの枚数を柔軟に変化させる一方、多くの方の御支援のもと、粘り強く収藏品レスキュー作業が続いているというキーメッセージを一貫して発信しました。
<p><課題・反省等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・軽量の布製パネルを設置し、重石を置いておりましたが、会場によっては風の影響を受ける等の課題がありました。 ・会場ごとの会期が短いため、巡回する各地域での効果的な広報が重要であると感じました。 ・今後巡回展を開催するときは、学芸員によるギャラリートーク等の企画を併せて検討してまいります。

<p><外部評価>意見（評価できる点や課題など）</p> <p style="text-align: center;">[A：十分に達成 B：概ね達成 C：達成に至らず]</p>	B
<ul style="list-style-type: none"> ・パネルを布製にするなどの工夫が感じられた。 ・短期間で会場が移動する大変さがあったと思う。パネル1枚と動画モニター等のコンパクトなかたちでもよいので、区役所の待合スペース等で長期間展示できる場所を探してはどうか。 ・今後、修復活動を生で見てもらえる機会を作れるようになってほしい。 	



【展覧会⑤】

事業名	被災から今、ふたたび ―川崎市市民ミュージアム 修復收藏品展―
会 期	令和4年9月20日（火）～10月8日（土）
会 場	ミュージア川崎シンフォニーホール 企画展示室
コンセプト	令和元年東日本台風によって被災した市民ミュージアムは、引き続き被災收藏品のレスキュー及び修復に取り組んでおります。これまでの成果として、修復が完了した收藏品の一部を市民の皆様に、その処置の過程とともに公開する展覧会です。また、修復に関する様々な技術をパネル及び動画等を用いて紹介します。
内 容	博物・美術の各分野から修復が完了した收藏品（詳細は別紙出品リスト参照）を展示するとともに、修復過程についてのパネル解説や、実際に使用している資器材を展示します。
関連事業	「水損した紙資料の応急処置ワークショップ」（3月19日） ※当初は10月1日に予定。講師急病のため延期して実施
その他	本展の展示資料をデザインしたクリアファイルセットを製作し、オンラインショップで販売中。



自己評価
<p><実施状況・成果></p> <p>【来場者数】 838人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・修復が完了した収蔵品を大々的に見ていただく場を、被災後初めてもつことができました。 ・来場者アンケートを通じて、「修復の手順を知ることができた」「定期的を開催してほしい」等の御意見をいただきました。 ・来場者アンケートの返礼品として、収蔵品レスキューに関する漫画冊子をプレゼントした効果もあり、アンケートに協力してくれる来場者の比率が通常よりも高くなりました。(来場者の約3分の1が回答)
<p><課題・反省等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数の新聞に記事が掲載されたこともあり、主要読者層である50代～70代の来場者が比較的多かった一方、今後より幅広い層に来てもらうための効果的な広報が必要であると考えております。 ・ワークショップの開催直前に新型コロナウイルス陽性者が出たことから、中止の判断や参加予定者への連絡について、あらかじめ対応方針を決めておく必要性が課題となりました。

<p><外部評価>意見（評価できる点や課題など）</p> <p style="text-align: center;">[A：十分に達成 B：概ね達成 C：達成に至らず]</p>	B
<ul style="list-style-type: none"> ・修復した収蔵品を実際に見てもらうことが大切であり、これだけの展覧会を開催できたことは非常に良かったと考える。 ・被災により絵画の木枠が反ってしまった様子を見ていたので、よく修復できたものだと思う。 ・修復の手順を知りたいと思う人のニーズに応えられたこともよかったのではないかな。 	

展覧会⑤別紙 修復収蔵品展出展一覧

分野	作品名	作者	制作年	サイズ(cm)	点数	技法素材等	展示方法(ケース or 額装)
美術文芸	宙'88 核への挑戦	斎藤寿一		543×687	1	木版	額装
美術文芸	黄色い風	斎藤寿一		407×523	1	木版、写真製版によるエッチング	額装
美術文芸	風薫る	田中岑		720×710	1	油彩	新規額作成
美術文芸	「100歳の画集」より	まどみちお	2009-2010年	265×360	2	ペン、紙	額装
美術文芸	男	麻生三郎		1160×908	1	油彩、キャンバス	新規額作成
美術文芸	四つの楕円と長四角	渡辺豊重	1987年	1818×2273	1	油彩、キャンバス	額装
グラフィック	画家=版画家展	ピエール・ボナール	1896年	65.3×48.2	1	リトグラフ	マット、額装
グラフィック	国際サーキット	ジョルジュ・ゴードイ	1906年	60.0×90.0	1	リトグラフ	三浦コレクション 額装
グラフィック	オペレッタ (シェイクスピア!)	ルネ=ルイ・ペアン	1899年	79.3×60.4	1	リトグラフ	三浦コレクション 額装
グラフィック	ピエール博士の歯磨き剤	モーリス・ピラルール・ヴェルヌイユ	1893年	81.4×52.5	1	リトグラフ	額装
グラフィック	オペレッタ「トルコ人」	ジュール・シェレ	1869年	73.8×56.2	1	リトグラフ	三浦コレクション 額装
グラフィック	アンバサドールのアリスティード・ブリュアン	アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック	1892年	149×98.8	1	リトグラフ	額装
グラフィック	『チャップ・ブック』誌	ウィリアム・H・ブラッドリー	1895年	50.0×33.0	1	リトグラフ	額装
グラフィック	フェニックスのミシン	不祥	1895年頃	79.5×60.2	1	リトグラフ	額装
民俗	河童図			40×40	1	紙本着色	ケース
民俗	豊後肥田水虎の図		江戸時代	81.6×39.7	1	紙本着色	ケース
民俗	絵馬「神馬」			27×35	1		ケース
民俗	絵馬「向いめ」			22×20	1		ケース
民俗	絵馬「女拝み」			35×26	1		ケース
民俗	絵馬「乳しぼり」			24×19	1		ケース
民俗	絵馬「向いめ」			27×33.5	1		ケース
考古	菅生古墓群長沢1822番地古墓出土火葬骨蔵器		平安時代(9世紀後半)	(器高)21.5cm(口径)13.7cm(最大径)25.1cm	4	須恵器	ケース
漫画	スピード太郎	穴戸左行	1930-1934年	37×25	4	紙、インク、水彩絵具	額装(2枚1組で額装)
漫画	似顔絵(川端康成)	清水崑		40.5×26.5	1	紙、墨	額装
漫画	似顔絵(長谷川町子)	清水崑		34×30	1	紙、墨	額装
漫画	かっぱ川太郎	清水崑		52.5×32.5	1	紙、インク、水彩絵具	額装
漫画	おせん	楠勝平	1966年	38.7×27	2	紙、インク、スクリーントーン、他	額装(2枚1組で額装)
漫画	ゴセの流れ	楠勝平	1971年	34.7×25.5	2	紙、インク、スクリーントーン、他	額装(2枚1組で額装)
漫画	ネオ体育	横山裕一	2004年	35.5×25.7	3	紙、インク、スクリーントーン、他	額装(2枚1組で額装)
漫画	京都のピゴ	ジョルジュ・ピゴ			1	油彩、キャンバス	ケース
映画	『人情紙風船』美術デザイン 白子屋付近	久保一雄	1937年(公開年)	27×35.5	1	ペン、紙、他	額装
映画	『ひめゆりの塔』美術デザイン 南風原の丘	久保一雄	1953年(公開年)	40×53	1	ペン、紙、他	額装
映画	『太陽のない街』オープンセット平面図略図	久保一雄	1954年(公開年)	59×116	1	ペン、紙、他	ケース
映画	『太陽のない街』美術デザイン 大同印刷工場裏口	久保一雄	1954年(公開年)	37×54	1	ペン、紙、他	額装
映画	『太陽のない街』美術デザイン 空地広場	久保一雄	1954年(公開年)	37×55	1	ペン、紙、他	額装
映画	『太陽のない街』オープンセット平面図	久保一雄	1954年(公開年)	30×42	0	ペン、紙、他	額装
映画	川崎市政ニュース映画 ニュースNo.1055「新春の川崎駅周辺」	神奈川ニュース映画協会(製作)	1995年	スタンダード	1	デジタルデータ	映像(4作品/約8分/ループ上映)
映画	川崎市政ニュース映画 ニュースNo.1119「自然とふれあう-高津区子どもフェア-」	神奈川ニュース映画協会(製作)	1997年	スタンダード	1	デジタルデータ	映像(4作品/約8分/ループ上映)
映画	川崎市政ニュース映画 ニュースNo.783「サッカーで姉妹都市交流」	神奈川ニュース映画協会(製作)	1983年	スタンダード	1	デジタルデータ	映像(4作品/約8分/ループ上映)
映画	川崎市政ニュース映画 ニュースNo.1307「開館1周年 ミューザ川崎シンフォニーホール」	神奈川ニュース映画協会(製作)	2005年	スタンダード	1	デジタルデータ	映像(4作品/約8分/ループ上映)
写真	ラブリイ子爵のアルバム「日清戦争」		1894年		4	鶏卵紙	ケース
写真	遣欧使節団、遣仏使節団肖像写真	ジャック=フィリップ・ポトー	1862,1864年		8	鶏卵紙	ケース
歴史	明治四十五年四月川崎馬見場ニテ飛行 セン奈良原式最初ノ国産飛行機ノ図解		1912年	42.0×59.4	1	洋紙・印刷	ケース
歴史	綱下ケ松参詣絵巻		江戸時代	56.0×330.1(本紙)	1	卷子装・紙本着色	ケース

【展覧会⑥】

事業名	鉄道開業150年記念展 川崎鉄道三題噺
会期	令和4年10月1日(土)～11月27日(日)
会場	東海道かわさき宿交流館
コンセプト	令和4年(2022年)は、日本に鉄道が開業して150周年にあたります。川崎市は、国内でも最初に鉄道が通った地域のひとつであることから、本展では、「東アジア初」であり日本で最初に開業した新橋・横浜間鉄道、「日本初」の電鉄である京浜電気鉄道、「東洋一」と称された新鶴見操車場の3つのトピックを主に取り上げ、鉄道の歴史における川崎の重要性や特質を紹介します。
内容	当館所蔵資料のほか、公益社団法人川崎・砂子の里資料館や鉄道会社、個人等に資料の貸出協力をいただき、地図や写真・浮世絵、模型、パンフレット等の貴重な資料約80点を展示します。 第1話 日本最初の鉄道と川崎(1872年) 第2話 日本最初の「電鉄」京浜電気鉄道(1899年) 第3話 「東洋一」の新鶴見操車場(1929年)
関連事業	①史跡めぐり(オンライン)「砂利の多摩川」 (9月2日(金)～3月31日(金)の期間配信中) ②シンポジウム「鉄道旅行の聖と俗」(10月8日(土)) ③ジオラマ製作ワークショップ(10月29日(土))
その他	本展の展示資料をデザインしたポストカードセットを製作し、オンラインショップで販売。 共催：東海道かわさき宿交流館



自己評価
<p><実施状況・成果></p> <p>【来場者数】 3,780人</p> <ul style="list-style-type: none"> これまでほぼ分かっていなかった明治時代の川崎停車場の姿について、写真や錦絵の展示を通じて具体像を明らかにする等、当館が継続して取り組んでいる研究を活かす展示となりました。 オンライン史跡巡り「砂利の多摩川」をはじめ、関連事業も多くの人に楽しんでいただきました。
<p><課題・反省等></p> <ul style="list-style-type: none"> 来場者の年齢層に偏り（中高年主体）がみられました。また、全国各地で鉄道開業150周年のイベントが多数開催された影響からか、会期後半の来場者数がやや伸び悩みました。 鉄道は興味を持つ人が多いテーマであると同時に、街や社会の発展史とも密接な関わりがあるため、今後も調査研究を重ね、企画展等で発表していきたいと考えております。

<p><外部評価>意見（評価できる点や課題など）</p> <p style="text-align: center;">[A：十分に達成 B：概ね達成 C：達成に至らず]</p>	B
<ul style="list-style-type: none"> オンライン動画が非常に楽しい内容であった。より多くの方に見てもらえる広報を展開することが重要である。 来場者の年齢層に偏りがあったとのことであるが、親子向けの関連企画をさらに展開するとよいのではないか。 	



【展覧会⑦】

事業名	オンライン展覧会 「the 3rd Area of “C” —3つめのミュージアム—」
会 期	令和4年12月20日（火）～令和3月31日（金）
会 場	オンライン（市民ミュージアムのウェブサイト上に開設） https://www.kawasaki-museum.jp/thirdarea/
コンセプト	<p>令和3年度に、市民ミュージアムウェブサイト上に「the 3rd Area of “C” —3つめのミュージアム—」をオープンしました。</p> <p>“C”とは、当館の建物を上から見るとアルファベットの「C」の形をしていることにちなんでいます。また、「the 3rd Area（3番目の場所）」には、館内の事業、外部の会場で行うアウトリーチ活動に続く、3つめの活動の場(エリア)にしていきたいという思いをこめました。</p> <p>令和元年東日本台風により被災し、建物を使用できない状況が続いていますが、収蔵品や川崎市ゆかりの作家の作品等をご覧いただくことは当館の使命のひとつであると考えています。</p>
内 容	<p>①kanon 原 美樹子 令和4年12月20日（火）～令和5年3月31日（金） 中原区在住の写真家・原美樹子は、自身が日常生活の中で出会った風景を撮影し、写真作品として発表してきました。平成29年には第42回木村伊兵衛写真賞を受賞し、国内外に活躍の場を広げています。 本展では令和3年春から秋にかけて当館を写した22点の撮り下ろし作品を発表するとともに、作家インタビューと学芸員による論考を掲載しました。</p> <p>②Cheer! Cheer! Hurray! 川崎のスポーツ史展 令和5年1月11日（水）～令和5年3月31日（金） 明治以降の学校教育や青年団によるスポーツ発展の歴史から始まり、主にかつての川崎球場と等々力緑地を中心に川崎市とスポーツのつながりを紹介。また、市内に拠点を置くトップチームの成り立ちと活躍、東京2020オリンピック・パラリンピック等について、資料画像のほか「川崎市映像アーカイブ」の動画を活用し、オンラインの特性を活かした展示を行いました。</p> <p>③あっけなく明快な絵画と彫刻、続いているわからない絵画と彫刻 令和5年3月1日（木）～令和5年3月31日（金） 《あっけない絵画、明快な彫刻》シリーズは、近藤恵介と富井大裕の2人によって平成22年に制作され、平成28年に作品7点が</p>

	当館に寄贈されましたが、令和元年東日本台風により7点全てが被災しました。本展では、被災の痕跡が残る作品と、被災・修復・喪失から作品上で起きてしまった不可逆的な事象を通して、新たに2人が共作した作品を紹介しました。
関連事業	いずれも「あっけなく明快な絵画と彫刻、続いているわからない絵画と彫刻」関連 【当館主催】 ①近藤恵介・富井大裕トークイベント（3月5日（日）） ②ワークショップ「一枚と一個のかたち」（3月18日（土）） 【共催事業】 ③展覧会「あっけなく明快な絵画と彫刻、続いているわからない絵画と彫刻」（3月9日（木）～3月26日（日）） 東京都渋谷区の「LOKO GALLERY」において、オンライン展の作品の実物を展示しました。
その他	

自己評価	
<実施状況・成果>	
【ページビュー数】 （3月15日現在） ①「kanōn 原美樹子」3, 812回、②「Cheer! Cheer! Hurray! 川崎のスポーツ史展」1, 676回、③「あっけなく明快な絵画と彫刻、続いているわからない絵画と彫刻」877回 ・休館が続く市民ミュージアムの姿を、地元在住の写真家である原美樹子さんが撮影した作品を通じ、多くの方に見ていただくことができました。 ・市民文化振興室が所管する「川崎市映像アーカイブ」の動画にリンクを張る等、オンラインの特徴を活かした手法を展示に取り入れることができました。 ・「あっけなく明快な絵画と彫刻、続いているわからない絵画と彫刻」はオンライン展示と実会場でのイベントや共催の展覧会を組み合わせる企画展とすることができました。	
<課題・反省等>	
・ページの機能上、平面の画像とテキストによる展示が主となるため、例えば動画を併用する等、立体の作品・資料を分かりやすく鑑賞していただく方法を検討してまいります。	

<p><外部評価>意見（評価できる点や課題など） [A：十分に達成 B：概ね達成 C：達成に至らず]</p>	<p>B</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・3本とも川崎や市民ミュージアムとゆかりのあるテーマで、内容も非常に良く学芸員と作家の連携が感じられる企画だった。 ・本来は別の分野・テーマの企画を、オンライン形式という共通項でひとまとめに広報するとそれぞれの趣旨が分かりづらくなると感じた。 ・「the 3rd Area of “C”」というタイトルだと、一般の人にはなかなか伝わりにくいのではないか。 	



【展覧会⑧】

事業名	第56回かわさき市美術展				
会期	入選作品 令和5年2月23日(木・祝)～3月1日(水) 入賞作品 令和5年3月3日(金)～3月11日(土) 表彰式 令和5年3月4日(土)				
会場	ミューザ川崎シンフォニーホール 企画展示室				
コンセプト	かわさき市美術展(以下、市美展という。)は、昭和42年(1967)から行われている、川崎市の芸術文化活動の振興を目的とした展覧会です。本展では、川崎市に在住、あるいは市内で制作活動をしている人々から作品を公募し、審査の上、入賞及び入選作品を展示することにより、市民が文化芸術活動に主体的に参加し、また鑑賞する機会を広く提供します。				
内容	【部門】 ①平面部門②彫刻・立体造形③工芸④写真⑤書⑥中高生 の6部門				
	【応募料】 一般：1点 2,500円、2点 4,000円 中高生：無料				
	【応募・入選入賞作品数】				
		応募者数	応募作品数	入選入賞者数	入選入賞作品数
	令和3年度	245	315	111	113
	令和4年度	273	351	120	123
【表彰】					
	対象	賞	人数	授与品	
		最優秀賞	6部門を通じて1名 工芸作品《鱒(うつぼ)》 松尾雅子さん	賞状、賞賜金30万円	
一般		優秀賞	5部門を通じて4名	賞状、賞賜金10万円	
		奨励賞	5部門を通じて8名	賞状、賞賜金1万円	
		審査員特別賞	5部門を通じて若干名	賞状	
中高生		コミュゼ川崎大賞	1名 書作品《自分の生きる人生を愛せ》谷口百華さん (市立川崎高等学校)	賞状、副賞(図書カード)	
		優秀賞	5名	賞状、副賞(図書カード)	
		市民賞	入選作品から来場者投票により決定		

関連事業	<p>オンラインセミナー（視聴無料）</p> <p>①「拓本の魅力」 https://www.kawasaki-museum.jp/event/26097/</p> <p>②「古代文字ってなんだろう」 https://www.kawasaki-museum.jp/event/26098/</p> <p>いずれも拓本・文房四宝研究者の日野楠雄氏を講師に迎え、11月1日（火）～3月31日（金）の期間、配信しました。</p>
その他	<p>かわさき市美術展懇談会を設置し、学識経験者から本市の文化振興上、より効果的な美術展とするための取組や、展示及び会場運営に関する意見を聴取しています。</p> <p>協賛：川崎信用金庫、セレサ川崎農業協同組合 後援：川崎市教育委員会、かわさきFM（79.1MHz）</p>

自己評価	
<実施状況・成果>	
<p>【応募数】 273人、351点（再掲）</p> <p>【来場者数】 1,712人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度以降では最多となる来場者数を記録したほか、応募数も令和2年度に次いで多くの作品が寄せられました。 ・新型コロナウイルスの影響により、表彰式を中止したり、最優秀賞及びコミューゼ川崎大賞受賞者の2名のみに縮小して表彰式を行う年が続いておりましたが、4年ぶりに全ての入賞者を対象としたかたちで表彰式を実施できました。 	
<課題・反省等>	
<ul style="list-style-type: none"> ・作品の応募は増加傾向にありますが、潜在的な市民アーティストの掘り起こしや応募促進が課題です。 ・かわさきパラムーブメントやアート・フォー・オールの一環として、障害のある方の参加を支援する取組を検討・推進していきます。 	

<外部評価>意見（評価できる点や課題など）	A
<p>[A：十分に達成 B：概ね達成 C：達成に至らず]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若いアーティストの登竜門として、公募展というものは続けるべきと考える。 ・応募を広げていくために、若い人への魅力づくりに取り組んでほしい。 	

【展覧会⑨】（報告のみ）

事業名	陸前高田市立博物館新館開館記念特別展 未来への約束～博物館が守り伝えるふるさとのたからもの			
会期	令和5年2月23日（木・祝）～3月12日（日）			
会場	名古屋市博物館			
コンセプト	<p>自分が暮らす地域の“たからもの”の価値や、自然災害への備えの必要性について見つめなおす一つのきっかけになることを目指し、陸前高田市立博物館の新館開館記念特別展を姉妹館である名古屋市博物館で再現した。</p> <p>主催：東北発 博物館・文化財等防災力向上プロジェクト実行委員会（※）、名古屋市博物館</p> <p>※川崎市市民ミュージアム、岩手県立博物館、陸前高田市立博物館、長野市立博物館で構成</p>			
内容	当館からは、次の6点の資料を出品した。			
		資料名	点数	大きさ (cm)
	1	「化物絵巻」	1	全 952.0 絵 845.2×38.4
	2	「河童図」	1	40×40
	3	絵馬「神馬」	1	27×35
	4	絵馬「乳しぼり」	1	24×19
	5	絵馬「向いめ」	1	27×33.5
	6	「明治四十五年四月川崎馬見場ニテ飛行セシ奈良原式最初ノ国産飛行機ノ図解」	1	47.2×68.2
	<p>【展覧会の展示構成】</p> <p>1 震災前の博物館</p> <p>2 “博物館が被災する”とは</p> <p>3 文化財レスキュー</p> <p>4 よみがえったふるさとのたからもの よみがえった高田歌舞伎 よみがえった高田松原 いのちの海 海を越える絆</p> <p>5 川崎市市民ミュージアムの挑戦</p> <p>6 長野市立博物館市民ボランティアの挑戦</p> <p>7 未来への約束</p>			
関連事業	展示解説会（3月11日（土）） ※当館学芸員が講師として参加			
その他				

2 教育普及事業

【教育普及④】

事業名	市民ミュージアム講座（オンラインセミナー）
会 期	令和4年8月～令和5年3月の期間に5講座 （各講座の配信期間は、配信開始～3月31日）
会 場	オンライン配信
コンセプト	市民ミュージアムの所蔵品や学芸員の研究成果を発信していくため、学芸員が専門分野について分かりやすく解説する講座を動画配信します。 幅広い分野の専門的な知識を提供することにより、休館が続く当館がオンライン上で社会に貢献する場としていきます。
内 容	<p><オンラインセミナートップページ> https://www.kawasaki-museum.jp/event/26228/</p> <p>【漫画分野】 昔の漫画に詳しくなろう！「漫画の歴史は関東大震災が変えた!？」（講師：新美琢真学芸員）※8月19日から配信中</p> <p>【歴史分野】 「新橋－横浜間鉄道開業と川崎」（講師：鈴木勇一郎学芸員） ※9月16日から配信中</p> <p>【修復分野】 「入門！修復とは何なのか —保存修復と光の関係」（講師：貝塚健学芸員）※10月7日から配信中</p> <p>【歴史分野】 「お茶壺道中一件 —「御茶」運搬中に川崎宿でいったい何が!？」（講師：菊地悠介学芸員）※11月4日から配信中</p> <p>【映画分野】 「磁気テープの応急処置とデジタル化 —川崎市市民ミュージアム実践編一」（講師：村岡由佳子学芸員）※12月16日から配信中</p>
関連事業	
その他	



自己評価	
＜実施状況・成果＞	
<p>【再生数】（3月15日現在）</p> <p>①漫画分野：609回 ②歴史分野（鉄道）：297回 ③修復分野：317回 ④歴史分野（お茶）：233回 ⑤映画分野：267回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被災による休館やコロナ禍の影響を受け、専門分野の魅力や研究成果を発信する機会が減少している学芸員に、活躍の場を創出しました。 ・特に、被災収蔵品修復に関連する講座は、当館の経験を広く共有していただくため重要なテーマです。 ・配信期間中であれば、いつでも何度でも見られ、定員の制約もない点は、実会場での講座にはないメリットです。 	
＜課題・反省等＞	
<ul style="list-style-type: none"> ・講座内容が充実していることを勘案すると、再生数を伸ばす余地が十分にあると考えられるため、次年度のオンラインセミナーに向け、より効果的な編集や字幕スーパーの付け方等を研究すると共に、多角的な広報活動を推進していきます。 ・オンライン講座を2年間実施し、ある程度のフォーマットやノウハウが蓄積されつつあることから、今後は講座で取り上げるテーマの幅を広げていくことを検討してまいります。 	
＜外部評価＞意見（評価できる点や課題など）	A
[A：十分に達成 B：概ね達成 C：達成に至らず]	
<ul style="list-style-type: none"> ・どの学芸員も話が上手なうえ、聞き取りやすかった。 ・これだけの内容がある動画を、館の学芸員・スタッフの手で予算もほとんどかけずに作り上げているのは素晴らしい。 ・内容が良いので、再生数をさらに増やすための広報を考えていければと思う。 ・権利の関係で配信期間を区切っているとのことだが、制作にかけた労力に報いるためにも、期限を更新する等できるだけコンテンツを活かす方向で進めてほしい。 	

【教育普及⑤】

事業名	史跡めぐり ー夢見ヶ崎 紅葉の道を歩くー
会 期	令和4年11月19日（土）、11月26日（土） ※いずれも同内容。
会 場	幸区内（集合場所：新川崎駅改札外）
コンセプト	市内の史跡をめぐることを通じて地域の歴史を掘り下げ、地域の文化振興とふるさと川崎への帰属意識を醸成します。 また、当館の収蔵品を活用することによって、市民ミュージアムにも関心を高めるきっかけとします。
内 容	【講師】谷拓馬学芸員 <予定ルート> 新川崎駅 改札外→新鶴見機関区→無量院→深瀬家長屋門→小倉用水路碑→幸区日吉合同庁舎（見学・休憩）→南加瀬貝塚→了源寺と軽部五兵衛の墓→天照皇大神（夢見ヶ崎動物公園そば）
関連事業	
その他	

自己評価	
<実施状況・成果>	
<p>【参加者数】29名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当初は各回10名で計画しましたが、多くの申込をいただいたため、スタッフを増員することにより安全を確保し、定員を増やした形で実施しました。 ・イヤホンガイドを使用することにより、参加者からは学芸員の説明が聞き取りやすいと好評だったことに加え、安全確保の面からも密集状態になりにくいメリットがありました。 ・第2回は立寄り先の無量院の御厚意により、「地獄絵図」の見学及び御住職による特別解説を行程に加えることができました。 	
<課題・反省等>	
<ul style="list-style-type: none"> ・これまで川崎市中部から南部エリアの史跡を訪ねる企画が多い傾向にありましたが、参加者からは北部での開催を希望する御意見もいただいております。次年度以降検討してまいります。 	

<p><外部評価>意見（評価できる点や課題など） [A：十分に達成 B：概ね達成 C：達成に至らず]</p>	<p>A</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・近隣でもあり、参加しやすいコースであることがよく分かった。 ・当初の計画以上に、実施段階でさらに良くすることができたのは評価できる。 	



【教育普及⑥】

事業名	オンライン美術鑑賞ワークショップ「言葉で旅するアーカイブ ～目の見えない人と見える人が川崎の風景を語る～」
会 期	令和4年12月3日（土）、12月10日（土）
会 場	オンライン（Zoomを使用）
コンセプト	<p>指定管理者のもと運営していた令和元年度に予定したものの市民ミュージアムが被災したため中止となった「視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップ」（視覚障害者と晴眼者がともに作品を鑑賞し、感じたことや気づいたことを話し合う鑑賞プログラム）を改めて実施します。ただし、新型コロナウイルス感染防止のためとして、オンラインで実施することとします。</p> <p>障害の有無にかかわらず当館の収蔵品を鑑賞する場を設けることで、全ての人に開かれたミュージアムとなることを目指します。</p> <p>【対象】一般（障害の有無にかかわらず、どなたでも参加可）。小学生以下は大人とともに参加。</p>
内 容	講師団体（視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップ）に参画するナビゲーターとともに、視覚障害者を含む参加者がオンラインで昭和期にアマチュアカメラマンが撮影した川崎の風景写真を鑑賞する。目が見える人は、作品の様子を言葉で説明し、見えない人は質問や感想を投げかけることによって、鑑賞を深化させていく。
関連事業	
その他	協力：視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップ

自己評価	
<実施状況・成果>	
<p>【参加者数】12名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当館初となるオンライン形式による双方向型の事業を開催し、新たな鑑賞スタイルを提供することができました。 ・オンラインならではの成果として、川崎市内だけでなく東北地方や近畿地方等の全国各地からの参加がありました。 ・被災以来、3年ぶりに障害のある方に対する教育普及事業を実施できたことで、「すべての人が参加しやすい事業」の推進ができたと考えております。 ・参加者からも活発な発言をいただくことができました。 	

<p><課題・反省等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・被災前、展覧会場で実施していた頃と比較し、申込者数が減少しました。 ・当館の通信環境の課題のほか、参加者側にトラブルが起きた場合（特に障害のある参加者の端末にトラブルが発生したとき）のサポートをどのようにすればよいか等、オンライン特有の検討すべき事項が見つかりました。 ・今後も実会場での開催を含め、障害のあるなしに関係なく鑑賞・交流できる体験の機会を提供していきます。
--

<p><外部評価>意見（評価できる点や課題など）</p> <p>[A：十分に達成 B：概ね達成 C：達成に至らず]</p>	<p>B</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・実際に参加してみたところ、目が見える人にとっても質問を受け説明をすることにより、見ているようで見ていなかった点がたくさんあるのだと気付かされたワークショップだった。 ・鑑賞対象を「昔の川崎の写真」としたことは、自分の記憶や生活と結び付け誰もが発言できるので非常に良い選択だったと思う。 ・教育普及の担当者たちの新しいことにチャレンジし、ノウハウを獲得しようとする積極的な姿勢は非常に良い。zoomの機能を活用すると、小さなグループに分かれてディスカッションすることも可能なので、今後もっと規模を拡大しても開催可能だと思う。 	



【教育普及⑦】

事業名	社会科教育推進事業
会期	令和4年6月～令和5年3月
会場	申込のあった学校
コンセプト	市内の小学4年生を対象に、二ヶ領用水に関する体験学習や実物資料の見学を目的とした来館プログラム「社会科教育推進事業」を長年実施してきましたが、令和元年東日本台風の被害により市民ミュージアムの休館が続いているため、出張授業・資料貸出・教材送付の3種類の事業として実施しております。
内容	出張授業：当館職員が学校に出向き、校内で授業を実施。 資料貸出：クワ、蛇籠（じゃかご）といった出張授業時に使用している資料の貸出。 ワークブック送付：当館で作成した、二ヶ領用水の歴史等をまとめた冊子を希望校に配布。 (参考) 令和3年度は出張授業46校、資料貸出9校、教材送付71校。
関連事業	
その他	

自己評価	
<実施状況・成果>	
<p>【実施校数】 76校 7,228名</p> <p>出張授業45校、資料貸出8校、教材送付63校（複数メニューの重複利用あり）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もっこ担ぎ等の体験を通じて、先人の苦労や工夫を児童に体感してもらうことができました。 ・教育普及担当だけでなく、歴史分野の学芸員も講師として参加し、児童の幅広い疑問・質問に答えることができました。 	
<課題・反省等>	
<ul style="list-style-type: none"> ・出張授業形式での実施が3年目となり、小学校側にもかなり定着してきました。各校の児童数や授業進度によって、解説と体験の時間配分や重点を置くテーマの希望が違うため、より柔軟に対応していけるよう今後も研究を重ねてまいります。 	

<p><外部評価>意見（評価できる点や課題など） [A：十分に達成 B：概ね達成 C：達成に至らず]</p>	B
<ul style="list-style-type: none"> ・収蔵品の実物を持っていけない場合も写真を持っていき話をする等、学芸員の姿勢が非常に良い。 ・児童にとっても、学芸員の生の言葉を聴くという機会は、普段の授業にない面白さがあるのではないか。 	

【教育普及⑧】

事業名	スクールプログラム
会 期	申込に応じて実施
会 場	申込のあった学校
コンセプト	<p>学校対象事業が出張授業中心となることをふまえ、これまで実施してきたスクールプログラム（勾玉作り等）に加えて新たなプログラムを考案し、提供できる内容を増やすことで川崎市内の学校との連携をより深めることを目指します。</p> <p>なお、授業は収蔵品に関連する内容を考案し、当館の収蔵品を活用する事業とします。</p>
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・学校等の団体からの申込に応じて、学芸スタッフが出向いて各プログラムを実施します。 ・考古、映像、美術以外の分野においてもプログラムを実施できるようにするため、令和4年度は民俗・歴史・漫画・写真・絵画分野のうち1～2分野に関する内容を考案します。 ・これまで実施してきたスクールプログラム（勾玉作り等）の手順書を作成し、実施方法をスタッフ間で共有します。
関連事業	
その他	

自己評価	
<実施状況・成果>	
<p>【実施校数】 1校（令和5年2月6日（月）宮内小学校 受講40名）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6年生のキャリア教育の一環として、「学芸員のお仕事とは」と題し、当館学芸員がどのような仕事に取り組んでいるかをお話しました。 ・新たなプログラム「画像使用」（「むかしの暮らし」等の授業で使う素材として、昭和期の暮らしが分かる写真データを貸出し、当時の様子を児童に知ってもらう）を開発しました。 	
<課題・反省等>	
<ul style="list-style-type: none"> ・申込が減少した原因として、新型コロナウイルス感染症の影響により学校や地域団体の行事が減ったことに加え、開催見合わせの期間が長引く間に、関係者の中でスクールプログラムがどのようなものかを知らない人の比率も増えているのではないかと考えられます。 ・次年度は、教育普及事業を紹介する小冊子を市内の学校等に配布する予定で、スクールプログラムの申込増につなげたいと考えております。 	

<p><外部評価>意見（評価できる点や課題など） [A：十分に達成 B：概ね達成 C：達成に至らず]</p>	B
<ul style="list-style-type: none"> ・学校の先生たちにプログラムの情報が届けば、より多くの利用希望が出てくると思われる。通常の広報だけでなく、例えば教員の研修の場など周知する機会を見つけて欲しい。 ・新規プログラムの「画像使用」というネーミングだと、どのようなものか分かりづらいのではないかと感じた。 	

3 資料等の調査、収集・受入、研究、修復に関する業務

(1) 調査、収集・受入

市民ミュージアム資料収集方針等に基づき、収集対象となる資料に関する情報を収集し、所有者等の譲渡又は寄贈等の意向の確認等、収集に関して必要となる事項について調査・折衝を行います。また、川崎市市民ミュージアム資料等収集懇談会において、専門家の意見聴取を経て、市が収集をするか否かを決定します。市が収集を決定した資料等については、受入れを行うとともに台帳へ登載します。

なお、令和4年度につきましては、11月4日（金）に写真部門、3月17日（金）に美術・文芸部門についての懇談会を開催しました。

(2) 研究

収集・収蔵した資料等について、展覧会や教育普及事業等を行うため、研究等を行います。

(3) 修復

資料等について、今後の展覧会や上映会で活用及び適切な保管のため、修復等を行います。

4 広報に関する業務

(1) 各種広報媒体の作成と活用

各種展覧会、上映会、教育普及事業等について、チラシの作成・配布、市民ミュージアムのホームページやSNS（Twitter、Facebook、Instagram）を通じた情報発信のほか、市政だより等の市広報媒体への掲載に向けた調整を行いました。

SNSフォロワー数（令和5年3月15日現在）

	Twitter	Facebook	Instagram
令和4年度末	5, 361	2, 011	935
令和5年3月15日現在	5, 429	2, 075	982

(2) 市民ミュージアムホームページの管理運営

市民ミュージアムの独自のホームページを管理運営し、随時更新を行いました。

(3) メディアリレーション

新聞・テレビ等での報道を通じて多くの人に市民ミュージアムの活動を知り、展覧会やワークショップに足を運んだり、事業への理解を深めていただくため、事業ごとに報道発表資料を作成するとともに、取材対応や番組制作協力を行いました。

(4) 川崎市市民ミュージアム年報及び紀要の作成

ア 年報

市民ミュージアムの事業実績のまとめとして年度ごとに作成している「川崎市市民ミュージアム年報」の令和4年度版を作成しました。

イ 紀要

学芸員達の研究の成果を展覧会、教育普及、広報物を発行する際に活用できるよう紀要を作成しました。

5 収蔵品の外部利用に関する業務

(1) 貸出し

市民ミュージアムに収蔵または、寄託を受けている収蔵品等について、他の博物館等から展覧会等のための貸出依頼があった場合に、貸出しを行うものです。

貸出しにあたっては、「川崎市市民ミュージアム資料貸出し要綱」の規定に基づき、収蔵品の保存状態や貸出先の環境条件等を勘案したうえで、申込者との調整、関係書類の準備及び収蔵品等の貸出し等を行う。著作権等権利関係の取扱いや貸出先の保存環境等について、事前に十分な確認をし、館外貸出の承認をしました。

令和5年度館外貸出実績（2月末現在） 8件

(2) 特別利用

特別利用とは、市民ミュージアムに収蔵または、寄託を受けている収蔵品等について、熟覧、模写、模造、拓本、撮影、原版使用に供するものです。「川崎市市民ミュージアム観覧料及び特別利用等に関する要綱」の規定に基づき、申請の受付と承認の手続き、特別利用料の収納を行いました。

令和5年度特別利用実績（2月末現在） 64件 242,000円

6 ミュージアムショップの運営に関する業務

川崎市市民ミュージアムが作成した刊行物等（図録、オリジナルグッズ等）をオンラインのミュージアムショップで販売しております。

なお、ショップの運営及び頒布代金の収納については、学芸業務受託者に委託し執行しました。

令和5年度販売実績（2月末現在） 700点 738,681円

7 危機管理に関する業務

市職員、学芸員及び施設管理業務スタッフが連携し、定期的に消防・防災訓練や風水害マニュアルに基づく情報付与訓練等の各種訓練を実施しました。

また、等々力緑地の浸水に対し、関係局が連携し、効果的な対応を図ることなどを目的に、等々力緑地の浸水対策に関する庁内連絡会議を設置し、浸水対策に関する情報共有や訓練の実施、市民ミュージアムへの浸水防除として、出水期には土のう等を設置するなど、事前対策を行いました。

令和4年度 市民ミュージアム事業費 予算

【支 出】

項 目	予算額
被災収蔵品修復関係経費 (修復委託、外部倉庫等)	420,940千円
学芸業務委託	324,644千円
施設管理業務委託(維持管理、警備等)	100,289千円
その他事務費等	28,824千円
合 計	874,697千円

<学芸業務委託の内訳>

展覧会・上映会経費	21,438千円
教育普及経費	2,330千円
広報関係経費	5,910千円
収蔵品レスキュー関係経費	78,023千円
物品・資料管理等経費	27,378千円
人件費その他	189,565千円

合 計	324,644千円
-----	-----------

【収 入】

項 目	予算額
財産収入(特別利用、自動販売機設置場所の貸付)	85千円
寄付金	102千円
諸収入(かわさき市美術展応募料、上映会入場料、 ワークショップ受講費、ミュージアムショップ等)	1,659千円
合 計	1,846千円

令和5年度 川崎市市民ミュージアム事業計画

川崎市市民ミュージアムは令和5年度も、市内の他施設やオンラインで展覧会、上映会及び教育普及活動を実施するほか、次のとおり諸事業を推進します。

また、当館は現施設では再開しないことを決定していることに加え、等々力緑地の再編整備が実施されることから、麻生区内に整備する仮施設(※)へ令和5年10月に移転し、業務を継続してまいります。

※仮施設には展示室を置かず、移転後も展覧会や教育普及事業は市内の他施設やオンラインで実施します。

1 展覧会・上映会

次の予定に基づき、展覧会及び上映会を市内の他施設において実施する予定です。

展覧会又は上映会名(仮称)	会 期	会 場
昔のくらしと道具展	令和5年6月17日 ～ 令和5年8月27日	大山街道ふるさと館
夕やけ上映会	令和5年9月頃 (うち1日)	等々力緑地内
川崎宿起立400周年記念展	令和5年9月頃 ～ 令和5年11月頃 (うち2か月程度)	東海道かわさき宿交流館
オンライン展覧会 「the 3rd Area of “C”」	令和5年9月頃 ～ 令和6年3月31日	オンライン
第57回かわさき市美術展	令和6年1月頃	ミュージア川崎 シンフォニーホール
市民ミュージアムの来歴展	令和6年2月頃 ～ 令和6年3月頃	教育文化会館
映画上映会	令和6年3月 (うち1日)	中原市民館

2 教育普及事業

視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップや高齢者を主な対象とする「収蔵品を用いた回想法」等、様々な方のニーズに沿ったワークショップを展開するほか、毎年実施している史跡巡りやオンライン形式の市民ミュージアム講座、展覧会の関連企画としての講座・ワークショップを実施します。

また、小学4年生を対象とする社会科教育推進事業やスクールプログラムを実施します。

3 資料等の調査、収集・受入、研究、修復に関する業務

(1) 調査、収集・受入

市民ミュージアム資料収集方針等に基づき、収集対象となる資料に関する情報を収集し、所有者等の譲渡又は寄贈等の意向の確認等、収集に関して必要となる事項について調査・折衝を行います。また、川崎市市民ミュージアム資料等収集懇談会において、専門家の意見聴取を経て、市が収集をするか否かを決定します。市が収集を決定した資料等については、受入れを行うとともに台帳へ登載します。

(2) 研究

収集・収蔵した資料等について、展覧会や教育普及事業等を行うため、研究等を行います。

(3) 修復

資料等について、今後の展覧会や上映会で活用及び適切な保管のため、修復等を行います。

4 広報に関する業務

(1) 各種広報媒体の作成と活用

各種展覧会、上映会、教育普及事業等について、チラシの作成・配布、市民ミュージアムのホームページやSNS（Twitter、Facebook、Instagram）を通じた情報発信のほか、市政だより等の市広報媒体への掲載に向けた調整を行います。

(2) 市民ミュージアムホームページの管理運営

市民ミュージアムの独自のホームページを管理運営し、随時更新を行っております。

(3) メディアリレーション

新聞・テレビ等での報道を通じて多くの人に市民ミュージアムの活動を知り、展覧会やワークショップに足を運んだり、事業への理解を深めていただくため、事業ごとに報道発表資料を作成するとともに、取材対応や番組制作協力を行います。

(4) 川崎市市民ミュージアム年報及び紀要の作成

市民ミュージアムの事業実績のまとめとして、「川崎市市民ミュージアム年報」の令和5年度版を作成します。また、学芸員達の研究の成果を展覧会、教育普及、広報物を発行する際に活用できるよう紀要を作成します。

5 収蔵品の外部利用に関する業務

(1) 貸出し

市民ミュージアムに収蔵または、寄託を受けている収蔵品等について、他の博物館等

から展覧会等のための貸出依頼があった場合に、貸出しを行います。

貸出しにあたっては、「川崎市市民ミュージアム資料貸出し要綱」の規定に基づき、収蔵品の保存状態や貸出先の環境条件等を勘案したうえで、申込者との調整、関係書類の準備及び収蔵品等の貸出し等を行う。著作権等権利関係の取扱いや貸出先の保存環境等について、事前に十分な確認をし、館外貸出の承認をしております。

(2) 特別利用

市民ミュージアムに収蔵または、寄託を受けている収蔵品等について、熟覧、模写、模造、拓本、撮影、原版使用を行いたいとの申請について、「川崎市市民ミュージアム観覧料及び特別利用等に関する要綱」の規定に基づき、申請の受付と承認の手続き、特別利用料の収納を行います。

6 ミュージアムショップの運営に関する業務

川崎市市民ミュージアムが作成した刊行物等（図録、オリジナルグッズ等）をオンラインのミュージアムショップで販売します。ショップの運営及び頒布代金の収納については、学芸業務受託者に委託します。

7 危機管理に関する業務

市職員、学芸員及び施設管理業務スタッフが連携し、定期的に消防・防災訓練や風水害マニュアルに基づく情報付与訓練等の各種訓練を実施します。

等々力緑地の浸水に対し、関係局が連携し、効果的な対応を図ることなどを目的に、等々力緑地の浸水対策に関する庁内連絡会議を設置し、浸水対策に関する情報共有や訓練の実施等の事前対策を行います。

また、麻生区への移転後は、仮設施設の状況に対応した各種訓練を実施するほか、現施設についても引き続き管理を行う予定です。

令和5年度 市民ミュージアム事業費 予算（市民ミュージアム執行分）

【支 出】

項 目	予算額
市民ミュージアム収蔵品修復事業費 (収蔵品修復委託料等)	231,368千円
市民ミュージアム運営事業費 (学芸業務委託料、収蔵品管理業務委託料等)	436,229千円
市民ミュージアム施設管理経費 (施設管理委託料、電気料、水道料、仮施設の土地借上料等)	164,552千円
市民ミュージアム施設整備事業費 (現施設関連の案内標識撤去工事費等)	41,023千円
市民ミュージアム施設事業費 (仮施設リース料等)	18,104千円
合 計	891,276千円

【収 入】

項 目	予算額
財産収入（特別利用、自動販売機設置場所の貸付）	215千円
寄付金	2,866千円
諸収入（かわさき市美術展応募料、上映会入場料、ワークショップ受講費、ミュージアムショップ等）	1,485千円
合 計	4,566千円

川崎市市民ミュージアム 収蔵品レスキューの状況について

川崎市市民ミュージアムは、令和元年東日本台風により、地階に設置された収蔵庫が浸水し、建物や設備のみならず、収蔵品にも大きな被害が発生しました。

定期的な報告として、令和4年12月31日現在の状況をお知らせいたします。

1 収蔵品レスキューのこれまでの経過について（下線：前回からの更新箇所）

(1) これまでに支援いただいた団体

文化遺産防災ネットワーク推進会議（10団体）
独立行政法人国立文化財機構
独立行政法人国立美術館
大学共同利用機関法人人間文化研究機構
国立国会図書館
公益財団法人日本博物館協会
公益社団法人日本図書館協会
全国美術館会議
全国歴史民俗系博物館協議会
特定非営利活動法人 文化財保存支援機構（JCP）
一般社団法人国宝修理装飾師連盟

その他支援・協力団体（7団体）
神奈川県博物館協会
日本大学芸術学部写真学科
東京大学史料編纂所
学校法人専門学校 東洋美術学校
学校法人帝京大学
神奈川地域資料保全ネットワーク
学校法人東海大学

(2) レスキュー支援体制（レスキューに入った延べ人数）

- ・委託事業者（指定管理者含む）13,249人
- ・川崎市職員 1,669人
- ・外部支援団体 3,623人
- 合計 18,541人

2 収蔵品のレスキュー状況（令和4年12月31日現在）（下線：前回からの更新箇所）

分野	収蔵品 総数	収蔵品内訳		被災 収蔵品 総数 ※1	レスキュー状況		
		作品・アーカイブズ資料・図書	寄託品		修復済 ※2	修復中 ※3	処分
歴史	42,377	39,696	2,681	29,423	25	<u>69</u>	0
民俗	13,981	13,951	30	13,738	9	<u>40</u>	29
考古	72,072	72,053	19	71,678	<u>35,514</u>	<u>21</u>	0
美術文芸	18,120	18,107	13	9,004	<u>1,508</u>	<u>1,270</u>	0
グラフィック	11,037	11,037	0	11,012	113	<u>120</u>	1
写真	33,113	<u>32,932</u>	<u>181</u>	21,395	<u>734</u>	<u>205</u>	4,802
漫画	74,503	74,503	0	73,679	429	<u>2,145</u>	37,479
映画	13,301	12,808	493	13,301	1,033	501	0
映像	28,131	27,238	893	2,413	0	0	1,129
合計	306,635	<u>302,325</u>	<u>4,310</u>	245,643	<u>39,365</u>	<u>4,372</u>	43,440

※1 レスキュー作業の状況等により、収蔵品数が増減する場合がある。

※2 修復不要を含む。

※3 修復前準備中を含む。

3 収蔵品のレスキュー状況概要（令和4年12月31日現在）

（★：前回からの更新箇所）

【指定文化財】

現状	資料名等
修復済	★市重要歴史記念物[考古]「下原遺跡縄文時代後・晩期出土品」のうち2件 (写真1)
修復中	・市重要歴史記念物[歴史]「古筆手鑑（披香殿）」 ★市重要郷土資料[民俗]「大師河原の漁撈具」のうち3件
応急処置済	・市重要郷土資料[民俗]「獅子頭」1件 ・市重要郷土資料[民俗]「大師河原の漁撈具」のうち454件 ・市重要歴史記念物[考古]「細山坂東谷古墓出土火葬骨蔵器」 ・市重要歴史記念物[考古]「下原遺跡縄文時代後・晩期出土品」のうち2,487件 ★市重要歴史記念物[考古]「宿河原縄文時代低地遺跡出土品」のうち211件

写真1 市重要歴史記念物[考古]「下原遺跡時代後・晩期出土品」（高坏形土器）



被災前



修復前



修復後

【歴史】

現状	資料名等
修復中	・絵図「主上御東幸之節玉川船はしの図」 ★破損仏など3件 ★瓦版12件 ★絵図18件 ★高札9件 ★双頭レール1件 ★浮世絵「虎山附近騎兵ヲ攻撃ス」など24件
応急処置済	★紙資料（古文書）約2,750件 ・紙資料（浮世絵、瓦版、絵図など）約20件 ・物資料（屏風、建築部材、電化製品など）約490件
応急処置中	★紙資料（古文書）約4,460件 ・紙資料（古文書）約330箱
冷凍保管中	・紙資料（古文書）約100箱 ・紙資料（広報紙、新聞、絵図など）約230件

【民俗】

現状	資料名等
修復中	★絵馬「向いめ」など 26 件 ★板戸 4 件 ★浮世絵「とうせいうさぎのよめいり」など 7 件
応急処置済	・紙資料（掛軸など） 約 70 件 ・物資料（民具など） 約 13,000 件
冷凍保管中	・紙資料 約 80 箱

【考古】

現状	資料名等
修復済 (修復不要)	★稲荷森遺跡（大型深鉢形土器）（修復不要）（写真2） ★市内採集（稲荷森遺跡、神庭遺跡、下原遺跡、野川東耕地遺跡、黒川丸山遺跡など）の土器片、瓦片、石器など 24,216 件（修復不要）
修復中	★「麻生台横穴墓群 3 号横穴墓出土直刀」など 21 件
応急処置済	★洗浄乾燥済（3,512 箱）
応急処置中	・順次、洗浄・乾燥（1,488 箱）

写真2 稲荷森遺跡（大型深鉢形土器）



被災前



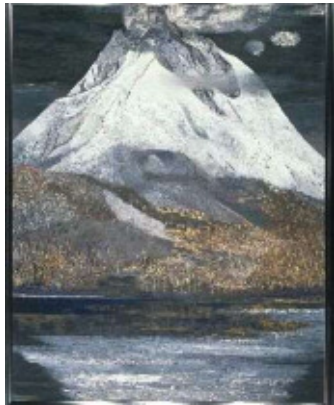
修復後（修復不要）

【美術文芸】

現状	資料名等
修復済 (修復不要を含む)	★大矢紀「恵庭岳」(写真3) ★まどみちお 絵日記 120 点 (写真4) ★渡辺豊重「パドヴァの夢」「走りだしたモクモク」(写真5) ★近藤恵介・富井大裕「私とその状況（あっけない絵画、明快な彫刻）」など 7 点（修復不要）(写真6)
修復中	・安田鞞彦「小鏡子」「神農」など 3 点 ★大矢紀「有珠新山」など 4 点 ★結城天童「真珠養殖」 ・まど・みちお 絵日記 736 点 ・渡辺豊重「1982 年ピクニック」など 2 点 ★斎藤寿一版画「青い点Ⅱ」、スケッチ など 11 点 ★田中岑「瑞光」など 5 点

	★麻生三郎「人」 ★佐藤惣之助 色紙 ★浮世絵・明治期版画 506 点
応急処置済	・安田靉彦本画 1 点 ・大矢紀 19 点 ・石渡風古画稿 約 1,000 点 ・結城天童作品、関連資料 約 20 点 ・佐藤惣之助、岡本かの子 約 30 点 ・市内作家 (渡辺豊重 約 50 点、田中岑 約 100 点 斎藤寿一 約 90 点、スケッチ 約 10 点、ほか現代作家約 50 点) ・関連作品、資料 (浮世絵・明治期版画 約 800 点)
応急処置中	★岩崎貴宏作品など 9 点
冷凍保管中	・書籍、まど・みちお関連資料など 30 箱

写真3 大矢紀 「恵庭岳」



被災前



修復前



修復後

写真4 まどみちお 絵日記



被災前



修復前



修復後

写真5 渡辺豊重「パドヴァの夢」



被災前



修復前



修復後

写真6 近藤恵介・富井大裕「私とその状況（あっけない絵画、明快な彫刻）」



被災前



修復前



修復後（修復不要）

【グラフィック】

現状	資料名等
修復中	<ul style="list-style-type: none"> ・ロートレック「ムーラン・ルージュのラ・グーリュ」など5点 ★アール・ヌーヴォー ポスター（シェレ「エミール・ゾラの小説『大地』」など）98点 ・アール・デコ ポスター（レオン・アストラヌ「パンプローナのサン・フェルミン祭」など）11点 ・現代版画（デイヴィッド・ホックニー「ストラヴィンスキーのポスター」） ★貴重書籍（ロートレック「無精」など）5点
応急処置済	<ul style="list-style-type: none"> ・アール・ヌーヴォー ポスター 41点 ・アール・デコ ポスター 276点 ・現代版画 401点 ・プロパガンダポスター 136点 ・日本の現代ポスターなど 1,819点 ・オリンピックポスター、外国ポスターなど 885点 ・マガジンカバー 681点
応急処置中	<ul style="list-style-type: none"> ・ポスターなど 約6,000点
冷凍保管中	<ul style="list-style-type: none"> ・外国ポスターなど 19箱

【写真】

現状	資料名等
修復済	<ul style="list-style-type: none"> ★20世紀写真（存命作家）（森栄喜「intimacy」など）40点
修復中	<ul style="list-style-type: none"> ★19世紀写真（J.R.ブラック発行「ファー・イースト」合本など）91点 ★20世紀写真（存命作家）（新井卓「2011年6月5日、釜石、座礁したアジアン・シンフォニー号」など）114点

応急処置済	<ul style="list-style-type: none"> ・19世紀写真 108点 ・木村伊兵衛写真賞受賞作品 249点 ★グラフ雑誌、写真帖 23点 ・カメラ機材 10件
応急処置中	★19世紀写真 178点
冷凍保管中	<ul style="list-style-type: none"> ・19世紀写真、20世紀写真など 33箱 ・写真帖、雑誌、書籍など 97箱

【漫 画】

現状	資料名等
修復中	<ul style="list-style-type: none"> ★漫画原画（岡本一平「無題(諷刺画)」など） 2,025点 ★油彩画（岡本一平「辻斬り」、井上洋介「電車図」） ★版本（鳥山石燕「図画百鬼夜行」） 6点 ★浮世絵「子供遊連名附」など 112件
応急処置済	<ul style="list-style-type: none"> ・漫画原画 549点 ・油彩画など 68点 ・軸 50点 ★漫画雑誌など 930点
応急処置中	<ul style="list-style-type: none"> ・漫画原画、漫画雑誌など 491点 ・垂鉛版 1件
冷凍保管中	・原画、漫画雑誌、書籍など 約 260箱

【映 画】

現状	資料名等
修復中	<ul style="list-style-type: none"> ・久保一雄スケッチ 500点 ・6mm 音声資料 1点
応急処置済	<ul style="list-style-type: none"> ・今井正「どっこい生きてる」など 1,942点 ・井手雅人関連資料 493点 ・久保一雄関連資料 4,355点 ・神代辰巳関連資料 89点 ・小川プロ関連資料 2,036点 ・独立プロ映画関連資料（ポスター） 33点
冷凍保管中	・映画監督、脚本関連資料など 24箱

【映 像】

現状	資料名等
応急処置済	・日本映像カルチャーセンター関連作品など 277点
冷凍保管中	・実相寺昭雄関連脚本など 12箱

【借 用】

現状	資料名等
修復済	★犬塚勉展作品（油彩画・スケッチ） 61点
修復中	・犬塚勉展作品（油彩画・スケッチ） 3点

被災収蔵品処分リストの概要（令和5年2月）

資料4-2

1 川崎市市民ミュージアム被災収蔵品の取扱について（令和2年7月作成）

（1）被災収蔵品の処分に関する運用基準

- ア 収蔵場所からの流出等により現物が確認できなかった場合
- イ 被災状況が酷く、複製印刷物などで市民ミュージアム以外でも存在が確認できた又は同一のものが入手できる場合
- ウ 被災状況が酷く、素材が変質するなどして、劣化又は破損しており、原形に戻すことが困難で次に掲げる場合
 - （ア）現状のままでも収蔵品としての価値が損なわれている場合
 - （イ）他の収蔵品に対して保存上の危険を生じさせる場合
- エ 当該作品・資料に関する調査・分析が十分になされた上で、その結果が公表され、全ての関連記録がしっかりと保存されている場合
- オ 埋蔵文化財等は「川崎市教育委員会埋蔵文化財等取扱要領」の定めるところによる。

（2）運用に当たっての所定の手続き

- ア 作品・資料にある権利、収蔵時に付随した特別な条件が、その後の作品・資料の処分を妨げないこと。
- イ 他の博物館・美術館・図書館等で、被災した作品・資料と同一のものを保有しているかを確認すること。また、複製作品等は、新たに複製できるか又は購入できるかを確認すること。
- ウ 文化的、歴史的、芸術的及び教育的価値の評価を行い、必要に応じ当該分野の専門家の意見を求めること。
- エ 保存することで安全衛生上等の危険を生じさせるような場合、専門家による調査・状態報告を受けること。
- オ 作品・資料の評価額を把握することとし、必要に応じ専門家による評価額を算定すること。
- カ 処分をする場合は、手続きを永久的な記録として保存し、処分リスト等は閲覧可能とすること。

2 被災収蔵品処分概要

分野	処分品目概要	被災状況等	処分数
民俗	藁等で製作された製品 4件	カビ等の繁殖	4
美術文芸	絵画（油彩画） 21点、書籍等 1,823点	画面剥落、固着等	1,844
グラフィック	日本の現代ポスター 5,235点、オリンピックポスター 116点、外国ポスター 1,197点、マガジнкаバー 17点	画面剥落、固着等	6,565
写真	19世紀写真 278点、20世紀写真（物故作家） 4,360点、20世紀写真 67点、雑誌等 1,508点	画面剥落、固着等	6,213
漫画	外国漫画雑誌 14,000点、日本の漫画雑誌 524点	固着等	14,524
映画	教育教材等の作品 957件	カビ等の繁殖、フィルムの変形、固着等	957
合計			30,107

3 被災収蔵品分野別処分概要

分野	資料／作品名等	件数	受入区分	運用基準	種類等	備考
民俗	「月の輪」 ほか	4	寄贈	ウ(ア) ウ(イ)	藁等	資料3-1 (P14)
	合計	4				

被災前

被災後

被災前

被災後



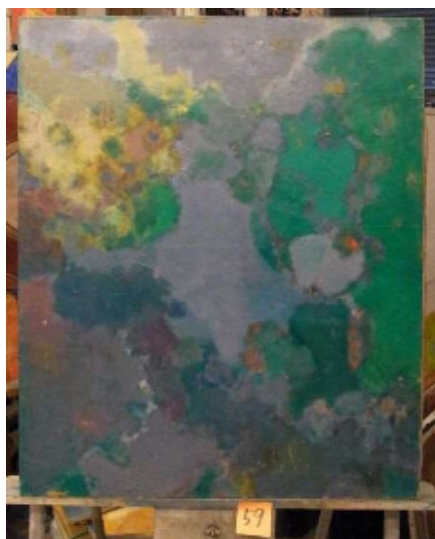
「月の輪」



「ムシロ」

分野	資料／作品名等	点数	受入区分	運用基準	種類等	備考
美術文芸	田中岑「緑陰」 ほか	21	寄贈	ウ (ア)	油彩画	資料3-2 (P15)
	岡本かの子「鶴は病みき」 ほか	243	寄贈	イ ウ (ア)	書 籍	資料3-3 (P16～ P22)
	岡本かの子「家霊」 ほか	188	購入			
	岡本一平「一平全集」 ほか	16	保管替			
	古今書院「明日香」 ほか	493	寄贈			
	アトリエ社「アトリエ」 ほか	685	購入		雑 誌	
	文藝春秋社「文学界」 ほか	196	保管替			
	東京穂波出版社「詩と歌謡」	2	不明			
合 計	1,844					

被災前



田中岑「緑陰」

被災後



被災前



岡本かの子「鶴は病みき」

被災後



分野	資料／作品名等	点数	受入区分	運用基準	種類等	備考
グラフィック	日本の現代ポスター（亀倉雄策「APPI & 2nd APPI」ほか）	3,784	寄贈	イ ウ（ア）	ポスター／版画	資料3-4 （P23～ P53）
	日本の現代ポスター（粟津潔「第二回世界宗教者平和会議 /The 2nd World Religionists Conference for Peace」ほか）	328	購入			
	日本の現代ポスター（田中一光「田中一光セリグラフ展」ほか）	1,123	不明			
	オリンピックポスター （フンデルト・ヴァッサー「サラエボ冬季オリンピック」ほか）	115	寄贈			
	オリンピックポスター （亀倉雄策「東京オリンピック（スタートダッシュ）」）	1	不明			
	外国ポスター（ビル・ネルソン「ビル・ネルソン個展」ほか）	773	寄贈			
	外国ポスター（マックスフィールド・パリッシュ「FISK TIRES」ほか）	396	購入			
	外国ポスター（デイヴィッド・ホックニー「芸術の新世界展」ほか）	28	不明			
	マガジンカバー （ノーマン・ロックウェル「SATURDAY EVENING POST」ほか）	17	購入			
	合計	6,565				

被災前



亀倉雄策「APPI & 2nd APPI」

被災後



被災前



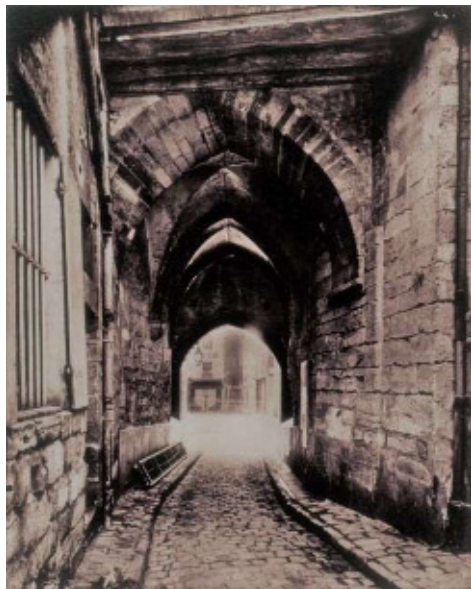
被災後



粟津潔「第二回世界宗教者平和会議/The 2nd World Religionists Conference for Peace」

分野	資料／作品名等	点数	受入区分	運用基準	種類等	備考
写 真	19世紀写真（ジャン=ウジェーヌ=オーギュスト・アジェ「アーチのついた路地 ラニー（セーヌ・エ・マルヌ県）」）ほか	278	購入	イ ウ（ア）	ゼラチン・シル バー・プリント/ ダイ・トランス ファー・プリント /フォトグラ ヴェール/フォト グラム など	資料3-5 (P54~ P75)
	20世紀写真（物故作家） （エド・ヴァン・デル・エルスケン「アムステルダム」）ほか	560	寄贈			
	20世紀写真（物故作家）（濱谷 浩「雪国」）ほか	3,800	購入			
	20世紀写真（マチュー・ベルノ「南仏記録プロジェクト」）ほか	52	寄贈			
	20世紀写真（セバスチャン・サルガド「背中 ブラジル」）ほか	15	購入			
	雑誌等（朝日新聞社「アサヒカメラ」） ほか	1,464	購入		印刷物	資料3-6 (P76~ P81)
	雑誌等（アルス発行「カメラ」） ほか	44	不明			
	合 計	6,213				

被災前



ジャン=ウジェーヌ=オーギュスト・アジェ「アーチのついた路地 ラニー（セーヌ・エ・マルヌ県）」

被災後



被災後



朝日新聞社「アサヒカメラ」

分野	資料／作品名等	点数	受入区分	運用基準	種類等	備考
漫 画	外国漫画雑誌「Le Rire」 ほか	1,256	寄贈	イ ウ (ア)	漫画雑誌	資料3-7 (P82～ P137)
	外国漫画雑誌「Punch」 ほか	8,989	購入			
	外国漫画雑誌「Simplicissimus」 ほか	2,547	不明			
	新潮社「週刊コミックバンチ」 ほか	524	寄贈	ウ (ア)		
	外国漫画雑誌「DIKOBRAZ」 ほか	1,208	不明			
	合 計	14,524				

被災後



新潮社「週刊コミックバンチ」

被災後



外国漫画雑誌「DIKOBRAZ」

分野	資料／作品名等	件数	受入区分	運用基準	種類等	備考
映 画	学研「天気の変化と予報」 ほか	957	寄贈	イ ウ (ア) ウ (イ)	16mmフィルム	資料3-8 (P138～ P141)
		合 計	957			

被災後



令和 4 年度川崎市市民ミュージアム事業報告

(第 1 回部会で報告・評価を行った事業)

<目次>

1 展覧会・上映会

- 展覧会① のぞいてみよう昔の暮らしー昭和から平成へー … 2
- 展覧会② 「河 あの裏切りが重く」デジタル修復版 35mm フィルム プレミア
上映会 … 4
- 展覧会③ 川崎市市民ミュージアム出張 夕やけ上映会 … 6

2 教育普及

- 教育普及① すみであそぼう ～みずでえがく、すみのいろ～ … 8
- 教育普及② さわれるシネマ フィルムでアニメーションをつくってみよう … 10
- 教育普及③ 親子向け対話型鑑賞および創作活動「家族でつくるアート・
メモリー」 … 12

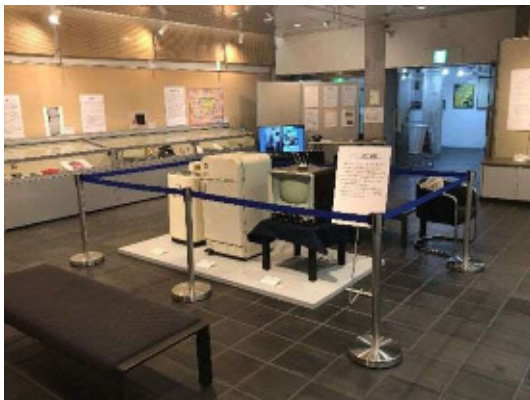
1 展覧会・上映会

【展覧会①】

事業名	のぞいてみよう昔の暮らしー昭和から平成へー
会 期	令和4年6月18日(土)～8月28日(日)
会 場	川崎市大山街道ふるさと館
コンセプト	<p>現在、普段から何気なく使っている水道・電気・ガス・通信といったライフラインは、今から約90年前まで遡ると、すべての家庭で使えるものではなく、暮らしに必要なことは主に手作業で行うことが当たり前でした。</p> <p>戦後、高度経済成長期を経て、世の中が豊かになってくると、人々の暮らしも大きく変化しました。各家庭にライフラインや電化製品が行きわたり、これまでより家事に手間も時間もかからなくなっていきました。</p> <p>本展では、昭和から平成の暮らしの変化について、各時代の生活道具を通して紹介します。川崎市内で実際に使われていた道具を公開することで、川崎市の歴史や文化への関心を深めていただく機会となれば幸いです。</p> <p>【主なターゲット層】 小学校3・4年生とその家族、高齢者層</p>
展示内容	<p>当館所蔵資料（電気洗濯機、電気冷蔵庫、白黒テレビ等） 川崎市大山街道ふるさと館所蔵資料（ミニシン、ハエ取り器、毛入り編み棒等） 株式会社日経映像所蔵資料『団地への招待』 約50点（収蔵品30点・借用品20点、資料パネル含む）</p>
関連事業	<p>【当館主催】 ①「竹のボールをつくろう！」（7月24日(日)） ②「昔のおもちゃで遊んでみよう！」（8月21日(日)）</p> <p>【大山街道ふるさと館主催】 ③講演会「高度経済成長と川崎」（7月9日(土)） ④夏休み小中学生のためのふるさと発見講座「昔の暮らしを調べよう」（8月6日(土)）</p>
その他	共催：川崎市大山街道ふるさと館

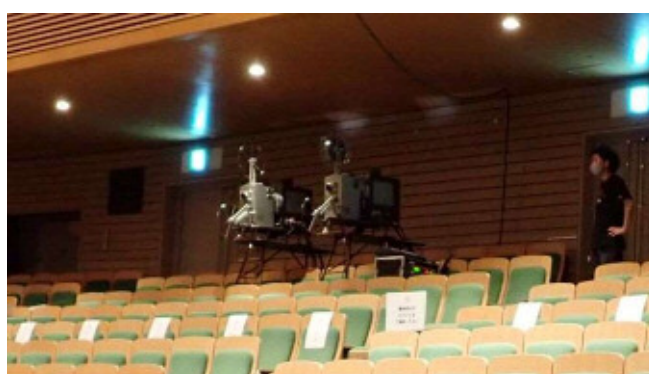
自己評価
<p><実施状況・成果></p> <p>【来場者数】 3,062人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観覧者は、ターゲット層である10歳未満の子どもたちが全体の3割を占めました。 ・昔のくらしの様子を紹介する映像資料を上映し、好評でした。
<p><課題・反省等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校からの見学希望の問い合わせを受けましたが、解説場所の確保が難しく今回は実施を見送りました。来年度以降も同様の展覧会を開催する場合は、あらかじめ団体見学の可能性を見込み、社会科教育推進事業との兼ね合いや、動線の確認、スタッフの手配等を事前に調整検討する必要があります。 ・大山街道ふるさと館主催の講演会、講座の応募者が定員割れとなりました。来年度以降も開催の場合は、内容及び募集対象、広報の進め方等を協議・検討する必要があります。

<p><外部評価>意見（評価できる点や課題など）</p> <p style="text-align: center;">[A：十分に達成 B：概ね達成 C：達成に至らず]</p>	B
<ul style="list-style-type: none"> ・当初目標の2千人を大きく上回る来場者数となったことは評価できる。 ・会場施設主催の関連事業が定員割れとなった点は課題が残ったと考える。 	



【展覧会②】

事業名	「河 あの裏切りが重く」デジタル修復版35mmフィルム プレミア上映会
会期	令和4年9月2日(金)
会場	多摩市民館 大ホール
コンセプト	令和元年東日本台風によって被災した映画フィルムの中でも、「河」は原版となるフィルムは当館のみに存在し、とくに複製が困難な作品です。 応急処置から修復に至る被災収蔵品レスキュー活動を通じて、ニュープリントとして蘇った貴重な映画作品を、いち早く川崎市民に公開することを目的に、プレミア上映会を開催します。
内容	<p>【上映作品】</p> <p>題名：「河 あの裏切りが重く」 (1967年/モノクロ/35mmフィルム/103分)</p> <p>【主要スタッフ及びキャスト】</p> <p>製作・監督・脚本：森弘太、撮影：高田昭 音響デザイン：一柳慧、照明：村瀬信夫、録音：鈴木康夫 出演：佐藤慶、灰地順、富田公子、原泉、芹川洋、浜村純 ほか</p>
関連事業	
その他	協力：森弘太、国立映画アーカイブ、広島市映像文化ライブラリー 株式会社IMAGICAエンタテインメントメディアサービス 技術協力：有限会社鈴木映画



自己評価
<実施状況・成果>
<p>【来場者数】 199人（事前申込制・無料）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来場者アンケート（回答数150）によると、全体の6割強の方は「大変満足」または「満足」と回答されました。また、来場者の約4割が70歳代以上の方でした。 ・多摩区内から来場された方が4割強を占める一方、約3割の方が市外からお越しになりました。 ・貴重な作品を見ることができてよかった、今後も上映会を開催してほしいという御意見をいただきました。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の一環で、QRコードを使った受付・名簿照合を行い、スムーズに進行することができました。
<課題・反省等>
<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度に入ってから会場調整をしたため、8月の土日での会場確保ができず、平日となりました。そのため、仕事帰りの方も来場できるよう、午後6時30分上映開始、午後8時15分上映終了、午後9時撤収完了と極力遅い時間帯で開催しました。

<外部評価>意見（評価できる点や課題など） [A：十分に達成 B：概ね達成 C：達成に至らず]	A
<ul style="list-style-type: none"> ・この映画は、日本中が注目する作品だと思う。 	

【展覧会③】

事業名	川崎市市民ミュージアム出張 夕やけ上映会
会 期	令和4年9月17日(土)
会 場	等々力緑地 催し物広場
コンセプト	被災収蔵品修復の成果として、処置が完了した作品を市民に見ていただくとともに、映画鑑賞体験を楽しんでいただく機会として、上映会を開催します。動画配信サービスが普及し、映画上映の形式や鑑賞手段が変化してきている現代において、スクリーンで不特定多数と映画を一緒に見るという鑑賞体験は薄れつつある中、野外上映の形式をとることで、より多くの観客が気軽にスクリーンで映画鑑賞を体験できる機会を創出することを目指します。 なお、上映作品については、被災収蔵品レスキューの過程でデジタル化を行った「川崎市政ニュース映画」と、長年多摩区に在住され令和4年4月に逝去した藤子不二雄 [®] 氏原作の「忍者ハットリくん」を選定しました。
内 容	<p>【上映作品】</p> <p>(1) 題名：川崎市政ニュース映画（5作品、合計約8分） 制作：神奈川ニュース映画協会</p> <p>(2) 題名：忍者ハットリくん（10作品、合計約70分） 制作：シンエイ動画株式会社 原作：藤子不二雄[®]</p> <p>【入場料】</p> <p>一般：600円 小学生～高校生：400円 未就学児及び障害者（介助者1名を含む）：無料</p>
関連事業	
その他	<p>来場者へのノベルティとして、著作権者の許諾のもと、忍者ハットリくんのオリジナルバッジ及び上映作品のストーリーや登場人物を解説した巻物状のリーフレットを製作・配布しました。（事前予告は行わず、サプライズ形式で実施）</p> <p>協力：国立映画アーカイブ 技術協力：株式会社東真トリニティー、有限会社鈴木映画 広報協力：「映像のまち・かわさき」推進フォーラム</p>



自己評価
<p><実施状況・成果></p> <p>【来場者数】 187人（事前申込制） （内訳）一般77名、小学生～高校生63名、無料47名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親世代がリアルタイムで観ていた「忍者ハットリくん」を我が子と一緒に見ることができてうれしかったとの御感想を複数いただきました。 ・川崎市政ニュース映画は自分達の住む町の昔の様子を知ることができて面白かったとの御感想をいただきました。 ・「河 あの裏切りが重く」プレミア上映会で導入したQRコードを使った受付・名簿照合を行うことで、日没後の屋外でも受付がスムーズに進行しました。
<p><課題・反省等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・台風接近に伴い雨天の可能性があったことから、開催可否の判断に当日朝まで悩むなど、野外上映会特有の難しさがありました。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、昨年度に続き事前申込制で当日参加なしとしたため、多少空席が残る結果となりました。 ・来場者アンケートでは、パイプ椅子席だけでなく敷物持参で地面に座れるとよいという御意見もあり、検討課題です。 ・午後7時50分終了だと、幼児にとっては少し遅いとの御意見もいただきました。野外のため日没後でないと上映ができない一方、昨年度は日没が早い10月下旬に開催したところ肌寒かったという反省もあり、今後も最適な時期を検討してまいります。

<p><外部評価>意見（評価できる点や課題など） [A：十分に達成 B：概ね達成 C：達成に至らず]</p>	A
<ul style="list-style-type: none"> ・巻物状のリーフレットは、工夫されており面白かった。 ・忍者ハットリくんと川崎市政ニュース映画を併映することで、それぞれに関心のある層が来場されたと思う。 ・神奈川ニュース映画協会が制作したニュース映画はアーカイブ性・資料性が高く、川崎市が公開の機会を作っていることは素晴らしいと思う。 	

2 教育普及事業

【教育普及①】

事業名	すみであそぼう ～みずでえがく、すみのいろ～
会 期	令和4年5月5日（木・祝）
会 場	とどろきアリーナ 研修室1・2
コンセプト	<p>墨と紙（和紙）に触れることで、水墨という子供たちにはあまり馴染みのない分野を体験してもらうことを目的とするワークショップです。</p> <p>広い会場で身体を動かしながら自由にかたちを描いていくことで、参加者が表現の楽しさを体感し、美術（表現）への興味を深めてくれることを目標とします。</p> <p>【対象】小学生以下の児童および園児（保護者同伴）</p>
内 容	<p>【講師】荒井恵子さん（アーティスト、水墨画家）</p> <p>荒井さんから様々な墨や和紙、筆のお話を聞いた後、墨を使った表現にチャレンジしました。最初は水を使って和紙に好きなカタチを描き、さらに水で描いた和紙の上に、筆を使って墨をひく体験を通じ、水の乾き具合や墨の濃度、墨をひく速さ等で異なる墨の表情を感じ取ってもらいました。</p> <p>完成作品は写真を撮り、市民ミュージアムのウェブサイトで公開しております。</p> <p>https://www.kawasaki-museum.jp/blog/7580/</p>
関連事業	
その他	<p>開催報告（教育普及ブログ）</p> <p>https://www.kawasaki-museum.jp/blog/7580/</p>

自己評価	
<実施状況・成果>	
<p>【参加者数】43名（親子合わせた人数）</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加者のうち約4分の3が中原区内在住の方でした。 コロナ禍で出かける機会が少ない中リフレッシュできたとの感想をいただきました。 指定管理から直営に移行し最初の事業であったため、広報調整等のプロセスを作り上げながらの実施となりました。 	
<課題・反省等>	
<ul style="list-style-type: none"> 被災前、館内で通年的に実施していたママカフェ等の事業を行えない状況の中、今後も幼児が気軽に参加できる事業を企画していく必要があると感じました。 	

<p><外部評価>意見（評価できる点や課題など） [A：十分に達成 B：概ね達成 C：達成に至らず]</p>	<p>A</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・多くの人が参加し、楽しんでいたので、事業目的を十分に達成したと感じる。 ・ワークショップが市民ミュージアムのコンセプトや収蔵品とつながりを持ち、企画がストックされていくようにすると、さらに良い。 	



【教育普及②】

事業名	さわれるシネマ フィルムでアニメーションをつくってみよう
会 期	令和4年8月11日（木・祝）
会 場	川崎市生涯学習プラザ
コンセプト	<p>映像技術のデジタル化が進み、人々がフィルムや映写機を見て触れる場面がなくなっていることから、映画の原理や昔は映画がどのように映写されていたのか、フィルムとはどのようなものかについて伝えることを目的に、子ども向け及び大人向けの2種類のワークショップを実施するものです。</p> <p>併せて市民ミュージアム収蔵品のうち被災を免れたフィルム作品を上映することで、休館により活用機会が少ない収蔵品を市民に紹介する場とします。</p> <p>【対象】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生4年生から中学生まで（ダイレクトペインティング） ・高校生以上（シネカリグラフ）
内 容	<p>【ワークショップ】</p> <p>文化学園大学造形学部の屋間行雄主任教授を講師に招き、次の2つの技法による制作体験を行うとともに、作品をその場で上映しました。</p> <p>(1) ダイレクトペインティング カラーペン等を用いて、フィルムに直接描画する技法。今回は小学4年生から中学生までを対象。</p> <p>(2) シネカリグラフ 色を付けた上から黒塗りしたフィルムを引っかき描画する技法。今回は高校生以上を対象。</p> <p>【映画上映】</p> <p>ノーマン・マクラレン作品[フィルム] 下記4作品（計25分） 『つかの間の組曲』（5分）、『色彩幻想』（8分） 『三角形のダンス』（5分）、『散歩する球』（7分）</p> <p>【受講料】</p> <p>(1) ダイレクトペインティング 500円 (2) シネカリグラフ 1,000円</p>
関連事業	
その他	<p>参加者の作品については、当日上映の他、DVDに録画して後日郵送しました。また、市民ミュージアムのYouTubeチャンネルでも作品を公開しております。</p> <p>開催報告（教育普及ブログ）動画もここから見ることができます https://www.kawasaki-museum.jp/blog/7627/</p>

自己評価
<p><実施状況・成果></p> <p>【参加者数】 ダイレクトペインティング（小学4年生～中学生） 17名 シネカリグラフ（高校生～大人） 11名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フィルム映写機を初めて見た参加者も多く、自分の描いた作品がスクリーンに映されたり、他の参加者の作品を見ることができ非常に楽しかったとの御感想をいただきました。 ・ノーマン・マクラレン作品の上映についても、貴重な映画を見られてよかったとの御感想のほか、受講者は自分がミニ作品づくりを体験してから鑑賞したこともあり、どのように撮影したのか不思議な気持ちになったとの御感想をいただきました。
<p><課題・反省等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生が市内各地から参加しやすいよう、保護者の送り迎えも考慮し夏休み期間の祝日に開催し、小中学生の申込は好調であった一方、高校生や大人を対象としたシネカリグラフの申込が少ない結果となりました。今回SNSやチラシ等による広報を行いました。大人に対する、より効果的な情報発信・拡散については今後の検討課題として残りました。

<p><外部評価>意見（評価できる点や課題など）</p> <p style="text-align: center;">[A：十分に達成 B：概ね達成 C：達成に至らず]</p>	B
<ul style="list-style-type: none"> ・シネカリグラフの参加が低調であったが、ターゲット層の多くの人に届き、受講料以上の価値があると期待できる広報が必要である。 	



【教育普及③】

事業名	親子向け対話型鑑賞および創作活動「家族でつくるアート・メモリー」
会期	令和4年10月15日（土）
会場	ミュージア川崎シンフォニーホール 4階研修室1～3
コンセプト	<p>このワークショップは、美術館に足を運び芸術作品を鑑賞することがまだ難しく感じられる、小学校低学年までの子どもをもつ家族連れを対象に、芸術を身近に感じてもらうことを目的としています。会場のミュージア川崎の施設内及び周辺に設置されているアート作品を活用し、下記の4つの活動を行うものです。</p> <p>①家族で、言葉や身体を使って主体的に作品と関わることを通して、アート作品の魅力を味わう。</p> <p>②対象をよく見つめ、その特徴や意味を写真で表現しきることを探求することで、日常化・無意識化している写真を撮るという行為を再構築する。</p> <p>③作品鑑賞を通して家族のコミュニケーションを促進し、アートと家族の記憶を作る。</p> <p>④川崎市内のパブリックアート作品との関係創出によって、生活圏にあるアート作品との関わり合いや発見を持ち続ける。</p> <p>【対象】 6歳から小学3年生までの子ども及び保護者 【企画協力団体】 NPO法人 芸術資源開発機構（ARDA）</p>
内容	<p>①アイスブレイクとグループ分けー安心して参加できる場づくり</p> <p>②グループごとに3つの作品を体験しながら、おしゃべり鑑賞</p> <p>③最後にみた作品を写真撮影 家族ごとに作品の魅力をどう引き出すかを考え、撮影を行う。</p> <p>④写真を出力し、家族のメモリーづくり 撮影した写真の中から1枚を選び、その写真を出力する。出力した写真を台紙に貼り、その上に描いたり貼ったりすることで、作品の魅力をさらに視覚的に表現する。そして、楽しかった体験を家族で味わう。</p> <p>⑤家族ごとに作品発表 作品のどんなところに驚いたのか、感動したのか、それを表現するために制作で工夫したこと、家族でどのように協力しあったのか等を発表。</p>
関連事業	
その他	

自己評価
<p><実施状況・成果></p> <p>【参加者数】 61名（22組）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・募集段階では午前・午後各9組を予定しておりましたが、多くの申込（61組）があったため当選を各回11組に増やして開催しました。 ・参加者のほぼ全員が「これまで当館の展覧会を見たことがなく、イベント等の事業にも参加したことがない」とアンケートに回答しており、今回のワークショップが新たな利用者を開拓するきっかけとなりました。 ・これまで事前申込制のイベントでは、当館から当選通知メールを送信するだけの仕組みだったのを、当選者側からも出席する予定か否か返信していただく運用を試験導入しました。今回、当選した全組が実際に参加したことから、当選者の意識付けを促進し、予定を失念する等のトラブルを抑える効果があるものと考え、その後のイベントについても同様の運用を行っております。
<p><課題・反省等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回は外部団体の協力により企画立案・運営を行いました。今後、館内の人材が企画を立て、ファシリテーションを行えるようスキルアップを図りたいと考えております。 ・作品を創るプロセスは子どもから大人まで皆楽しんでいる様子であった一方、パブリックアートを鑑賞する時間については飽きてしまう子も見受けられました。芸術鑑賞を体験してみる機会として企画したワークショップであることから予想された反応ではありますが、今後もさらに楽しめる企画を検討していきたいと考えております。

<p><外部評価>意見（評価できる点や課題など）</p> <p style="text-align: center;">[A：十分に達成 B：概ね達成 C：達成に至らず]</p>	A
<ul style="list-style-type: none"> ・募集定員を大きく上回る申込があったことは評価できる。 ・講師団体の得意分野をうまく引き出した企画だったと感じる。 	



川崎市文化芸術振興会議規則（平成17年9月15日規則第99号）

最終改正:平成28年3月31日規則第13号

改正内容:平成28年3月31日規則第13号 [平成28年4月1日]

（趣旨）

第1条 この規則は、川崎市文化芸術振興条例（平成17年川崎市条例第8号）第9条第6項の規定に基づき、川崎市文化芸術振興会議（以下「振興会議」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

（委員）

第2条 市民のうちから委嘱される委員は、公募によるものとする。

（会長及び副会長）

第3条 振興会議に会長及び副会長各1人を置き、委員の互選により定める。

2 会長は、会務を総理し、振興会議を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

（会議）

第4条 振興会議は会長が招集し、会長はその会議の議長となる。

2 振興会議は、委員及び議事に関係のある臨時委員の半数以上が出席しなければ、会議を開くことができない。

3 振興会議の議事は、出席した委員及び議事に関係のある臨時委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

（関係者の出席）

第5条 振興会議は、その調査審議に必要があると認めるときは、関係者の出席を求め、その説明又は意見を聴くことができる。

（部会）

第6条 振興会議は、必要に応じ部会を置くことができる。

2 部会に属すべき委員及び臨時委員は、会長が指名する。

3 部会に部会長1人を置き、部会に属する委員及び臨時委員の互選により定める。

4 部会長は、部会の事務を掌理し、部会の審議の経過及び結果を振興会議に報告するものとする。

5 部会の会議については、前2条の規定を準用する。

（庶務）

第7条 振興会議の庶務は、市民文化局において処理する。

（委任）

第8条 この規則に定めるもののほか、議事の手続その他振興会議の運営に関し必要な事項は、会長が振興会議に諮って定める。

附 則

この規則は、平成17年10月1日から施行する。

附 則（平成20年3月31日規則第16号抄）

この規則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則（平成28年3月31日規則第13号）

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

川崎市文化芸術振興会議市民ミュージアム部会設置要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、川崎市文化芸術振興会議規則（平成17年9月15日規則第99号。以下「規則」という。）第6条に基づき設置する川崎市文化芸術振興会議市民ミュージアム部会（以下「市民ミュージアム部会」という。）について、川崎市文化芸術振興条例（平成17年3月24日条例第8号。以下「条例」という。）及び規則に定めるもののほか、必要な事項を定めるものとする。

(所掌事務)

第2条 市民ミュージアム部会の所掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 川崎市市民ミュージアムの事業評価に関すること
- (2) その他川崎市市民ミュージアムの円滑な運営に関すること

(組織等)

第3条 市民ミュージアム部会は、川崎市文化芸術振興会議（以下「振興会議」という。）の会長から指名された振興会議委員及び臨時委員によって構成する。

2 市民ミュージアム部会員の任期は、振興会議委員と同一とする。

3 任期の途中で部会員に欠員が出た場合は、振興会議会長が補欠の委員を指名するものとし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(庶務)

第4条 市民ミュージアム部会の庶務は、市民文化局川崎市市民ミュージアムにおいて処理する。

(その他)

第5条 この要綱に定めるもののほか、市民ミュージアム部会の運営に必要な事項は、部会長が部会に諮って定める。

附 則

この要綱は、令和4年10月1日から施行する。